

衆議院厚生労働委員会ニュース

平成 26.11.13 第 187 回国会第 7 号

11 月 13 日（木）、第 7 回の委員会が開かれました。

1 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の一部を改正する法律案(内閣提出第 21 号)(参議院送付)

- ・塩崎厚生労働大臣から提案理由の説明を聴取しました。
- ・塩崎厚生労働大臣、宮下財務副大臣、橋本厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
(賛成一自民、民主、維新、公明、次世代、みんな、共産、阿部知子君(無))

(質疑者及び主な質疑内容)

豊田 真由子君(自民)

- ・エボラ出血熱の患者が発生し、搬送された医療機関のみでは対応が困難である場合の医療従事者の派遣等支援体制の整備が必要ではないか。また、一類感染症等の危険性の高い感染症に対応できる人材の育成状況について伺いたい。
- ・エボラ出血熱の流行国からの帰国者が発熱し、一般の医療機関を直接受診する事例が発生したが、このような事例が生じないような対策を講じているか伺いたい。
- ・感染症対策は単なる疾病対策ではなく、安全保障としての側面を有することを踏まえ、今後の感染症対策に対する厚生労働大臣の決意を伺いたい。

河野 正 美君(維新)

- ・エボラ出血熱の感染疑い例が発覚した場合、発表のタイミングや航空機の便名などの情報についてどのような基準で情報を公表するのか伺いたい。
- ・エボラ出血熱の患者が一般の医療機関を受診した場合、消毒等のため休診を余儀なくされる医療機関に対して休業補償を行う必要はないか、橋本厚生労働大臣政務官の見解を伺いたい。
- ・国内においてエボラ出血熱の患者が発生した場合に備え、対応する医療機関の全都道府県における指定や現場の対応能力向上に向けた厚生労働大臣の見解を伺いたい。

浦野 靖 人君(維新)

- ・BSL4の施設基準を満たす国立感染症研究所村山庁舎をBSL4施設として指定することに向け、どのように地元の理解を得ていくのかについて伺いたい。

- ・アジアにおける日本の果たすべき役割に鑑み、国民の理解を得た上でBSL4施設を数か所まで増やしていくべきとの意見に対する見解を伺いたい。
- ・空港に勤務する職員に対する感染症防護措置について、国としてどのような指導をしているか伺いたい。

中 根 康 浩君(民主)

- ・エボラ出血熱の流行がいつまで続くのか、流行後に収束した国の収束の理由について厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・我が国として世界のエボラ出血熱のワクチンの開発を積極的に支援するとともに、国内でもワクチンの開発を進めていく必要性について厚生労働大臣の認識を伺いたい。
- ・エボラ出血熱に潜伏期間があることから、水際対策には限界があると考えるが、認識を伺いたい。また、実効性のある対策実施のためにどのような取組を行っていくか伺いたい。

長 妻 昭君(民主)

- ・消費税の10%への引上げを延期する場合、消費税引上げにより対応することとしている子育て支援や介護の充実が遅れることを懸念しているが、厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・エボラ出血熱発症の疑いのある男性が一般医療機関を受診し、医療関係者や他の受診者に感染するおそれがあったことを踏まえ、厚生労働省は二次感染防止対策をどう改善していくのかについて伺いたい。
- ・年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)の国内株式による運用の比率を高めたことにより何のリスクがどう増減したのか、国民に詳細に説明すべきではないか。

今村 洋史君（次世代）

- ・大阪で発見されたエボラ出血熱の疑い例の検査を東京の国立感染症研究所で行った理由が制度上の問題なのか、技術的な問題なのか、伺いたい。
- ・エボラ出血熱の患者等を早期に把握することは、二次感染防止にも資することから、東京以外においても一種病原体等の確定検査ができるようにすべきではないか。
- ・エボラ出血熱の流行地域からの入国制限を行わない理由、また、自己申告による渡航歴の把握に限界があることを踏まえたまん延防止策について伺いたい。

中島 克仁君（みんな）

- ・エボラ出血熱の感染疑い例が国内で発生した場合の特定感染症指定医療機関及び第一種感染症指定医療機関の受入れ体制の状況について伺いたい。
- ・エボラ出血熱の感染疑い例が航空機内や船舶内で発生した場合の対応の手順や、関係機関の連携について伺いたい。
- ・エボラ出血熱患者に対する未承認薬であるアビガン錠等の投与は日本でも可能か、また、可能な場合には誰が決定し、誰が責任を負うのか。

高橋 千鶴子君（共産）

- ・日本から感染症発症国への看護師派遣の状況、我が国における感染症専門看護師の養成状況を伺いたい。
- ・最初の患者を確実に発見し封じ込めるために、WHOの国際保健規則に基づく他国との情報交換と出入国者に対する注意喚起を十分に行う必要があるのではないか。
- ・結核罹患率が依然として高い我が国において結核診断の向上にどのような対策を講じているのか。

奥水 恵一君（公明）

- ・エボラ出血熱の診療を行う医療機関における感染予防対策の取組状況を伺いたい。
- ・病原体を特定できない感染症患者の検体の入手や分析について、本法律案ではどのような措置が可能となるのか。
- ・感染症対策の取組に対する厚生労働大臣の決意を伺いたい。